

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 赤崎 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.13 | 19.00 | 33.98 | 40.60 | 46.92 | 9.48 | 151.13 | 20.52 | 52.59 |
| 本市 | 16.30 | 19.17 | 34.49 | 40.75 | 49.29 | 9.48 | 152.47 | 21.39 | 53.38 |

<女子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.01 | 18.05 | 38.45 | 38.73 | 36.80 | 9.71 | 144.29 | 13.22 | 54.28 |
| 本市 | 16.35 | 18.36 | 38.88 | 38.78 | 39.26 | 9.70 | 145.97 | 13.51 | 55.18 |

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

- ・「運動が好き」や「体育の授業は楽しい」と90%以上の児童が回答しており、「運動は大切」と考える児童は100%であった。
- ・「体育の授業は楽しい」と回答した児童の主な理由は「できなかったことができるようになるから」、「運動のポイントを分かりやすく教えてもらえるから」、「先生に褒められてうれしいから」が多数を占めていた。
- ・「体育の授業に進んで参加している」と回答した児童は95%以上であった。
- ・タブレットなどのICT機器を使って学習することで、できたり、分かたりすることがあると答えた児童は全国平均・市平均を上回っており、子どもたちはICT機器を体育の活動に利用することが運動に親しむうえで効果的であると感じていることが分かった。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・職員研修を行い、体育主任の指導・助言のもと正しい運動の仕方・正しい測定の仕方について共通理解を図り、新体力テストを実施した。
- ・器械運動など、一部の単元はカリキュラムマネジメントを行い、できるだけ全学年同じ時期に実施することで、準備や片付けの時間を削減し、活動の時間を十分にとることができた。
- ・ICT機器を活用して授業を行うことで、運動の質を高めることができた。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・全国体力・運動能力調査の課題や体力向上に関する取組を保護者に周知していくこと。
- ・運動記録カードを活用し、自己の運動について振り返ることができる取り組みを行った。